

『保泉蔵』  
明治42年の土蔵からモルタル蔵まで繋がれて、足袋産業の発展とともに拡大した行田の歴史そのもの。



『横山呉服店の蔵』  
短棚形の敷地に建物が列状に並び足袋商店の典型的建築配置。惜しくも今年の夏にすべて解体。



『WOaW House』  
変わりデザイン足袋の店。アートギャラリーとアトリエを兼ね備えたアート空間と一緒に楽しもう。



『栗原医院』  
大正時代に建てられたハイカラな病院建築がある。第二回「浮き城のまち景観賞」を受賞している。



『行田足袋コレ』  
2018年11月11日、行田商工会議所にて「行田足袋コレ」が開催されます。どんなのが登場するか楽しみ。



『旧 島田医院』  
昭和6年竣工の寄棟造り屋根の木造二階建。この付近は古くは忍馬車鉄道の路線でした。



鰻料理の『満る岡』  
この料亭1875年創業以来、鰻料理の伝統を守りつつ営業中。“第一回浮き城のまち景観賞”を受賞。



『行田窯』  
今まで陶芸工房として活躍していました。今年の4月の「蔵めぐりまちあるき」で内部公開。



日本遺産『足袋蔵』のサイトとパンフレット  
昨年、行田「日本遺産」計39件が認定。今年には「行田音頭」など6件が追加されました。



青柳スクールメイトの『店舗兼住宅と土蔵』  
この建物は道路拡張のために切り取られ、そして今春にはもろもろ、取り壊されました。



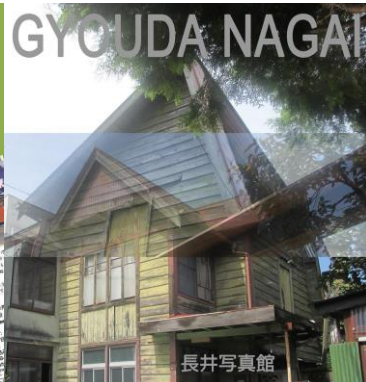
『まちづくりミュージアム』  
なぜ足袋蔵のまちになったのか？『利根川流域の綿の栽培が始まったこと』。当館のパネルより。



『栗原家のモルタル蔵』  
戦後に移築・転用された数少ない足袋蔵のひとつ。行田では最も美しいモルタル蔵ですね。



『行田音頭』  
暗く沈んだ行田の町を明るく生きがいのある町にするために。作曲・中山晋平、作曲・西條八十。



『長井写真館』  
モダンで洒落た建物デザインは、まさに「大正ロマンの時代を感じる遺産」そのものです。



『足袋生活』  
小学校の児童に足袋を配り、1年間学校で足袋生活を送ってもらうことにしています。



『忠次郎蔵』  
毎年開催の「昔体験セミナー」では「そば打ちでなく、うどん打ち」を体験しています。





**森家土蔵**

**GYODA MORIBAN**

『古蛙庵』古蛙庵は私的な書齋兼民芸館として活用。明治時代のどっしりした森伴造商店の足袋蔵です。



**GYODA KYODO**

『行田市郷土博物館』行田市郷土博物館は、忍城の本丸跡地にある博物館です。行田が理解できる場所です。



**奥貫蔵**

**GYODA ANDO**

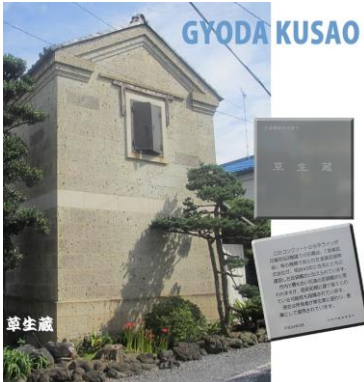
『もうひとつの奥貫蔵』足袋産業が盛んなころを甦らせる"もうひとつの蔵"。さらに今年度に追加登録されたようす。



**GYODA OOSAWA**

**大澤家住宅旧文庫蔵**

『大澤家住宅旧文庫蔵・住宅・土蔵』書類などの保管のための文庫蔵。行田市唯一のレンガ蔵。住宅も日本遺産に追加認定されました。



**GYODA KUSAO**

『草生蔵』市内で最も古い石造りの足袋蔵。コンクリートの水平ラインが印象的な蔵だとさ。



**2018**

**GYODA TANBO ART**

『田んぼアート』稲を使って描く「田んぼアート」は一種の地上絵。今年の田んぼアートとナスカの地上絵がコラボ。



**GYODA KURIDAI**

**栗代蔵**

『足袋蔵まちづくりミュージアム(栗代蔵)』毎年の「蔵めぐりまちあるき」の受付会場。そして今年足袋蔵の二階で和楽器演奏がありました。



**イサミスクール工場**

『イサミスクール工場とこはぜ屋足袋』『陸王』として登場しました『イサミスクール工場』。テレビですごいものですね。正門は話題中。



**GYODA KASAHARA**

『笠原家住宅』郵便局の奥にある古い建物、これが笠原家の住宅です。2018年に日本遺産に追加されたようす。



**GYODA KUJIRAI**

『鯨井家倉庫』現存する市内唯一の戦前の鉄骨コンクリート造の足袋蔵。行田市が表示版を設置されました。



**GYODA KIMONO**

**着物の仕立て屋(牧野本店)**

『着物の仕立て屋(牧野本店)』博物館の店舗。ここに着物のお店がオープン。コンセプトは着物ファンと和裁師のマッチング。



**GYODA GAKUYA**

『楽屋足袋蔵』楽屋はガクヤ株式会社のブランド名。楽屋の"足袋蔵"が日本遺産に追加されたようす。



**GYODA OSHIMACHI**

『Vert Cafe(旧忍町信用組合店舗)』この店舗2018年の春に移築。コーヒーハウスとして登場。大正時代のルネッサンス風の木造建。



**GYODA OOSAWA**

『大澤久右衛門家住宅・土蔵』現存する行田"最古の土蔵"。行田市が表示版を設置されました。表示版は蔵の種類によって色分け。



**GYODA HOTEL**

『HANA HOTEL』2018年6月にオープンした行田天然温泉ハナホテル。奥隣には料亭"彩々亭"があり。

ご紹介の行田の日本遺産を主体とする足袋・足袋蔵関係について、2017年から調査しておりますが、行田の日本遺産のその後と題して、市内の出来事を整理してみました。2018年10月に市民大学の仲間と実際に歩いて回り、気づいた事柄を31点にまとめたものです。